

DIPL 通信第 173 号をお届けします。

西日本豪雨、観測史上最高気温など、記録的な降雨・猛暑に見舞われた 2018 年の夏でした。東京も梅雨明けが早く、7 月から「勘弁してくれ〜」と嘆きたくなるような酷暑が続きましたね。例年、生徒達には「暑さに負けて頑張る勉強しよう！」的なセリフを言う夏期講習ですが、さすがに今年ぐらいの暑さになると、「体調を崩さず 5 日間通ってね」という願いが先に立ちました。夏期講習もあと少し。お互い体調にはくれぐれも注意して乗り切りましょう。

さて、夏休み明けにはほとんどの学校で【休み明けテスト】が実施されます。夏休みの課題を期日に提出するのは当然ですが、その課題がそのままテスト範囲の場合もあります。すでに仕上げている人も、「内容の再確認+暗記の徹底」に努めて、良いスタートが切れるようにしてください。このテストはもちろん2 学期の評価の対象です。

今号では、「行間を読み取ることの大切さ」について書いていきます。

大野慎介

## 行間を読み取ることの大切さ

本業の予備校講師だけでなく、最近はタレントとしても有名な林修先生は、先日あるテレビ番組で次のようなことを言っていました。

— 妻が夫に「夕食、何が食べたい？」と尋ね、夫が本当に食べたいものを答えると、妻が不機嫌になることがよくあるという愚痴を聞く。が、妻から夫への「夕食何が食べたい？」は、本当に夫が何を食べたいか知りたいのではない。それは、家事の手伝いのお願いである。—

林先生によれば、「夕食、何が食べたい？」という言葉には、行間がある、つまり、省略された言葉があるのだそうです。その行間を読み取ると、「夕食、何が食べたい？」は、「夕食、冷蔵庫の中身とスーパーの特売と栄養のバランスを総合的に考えた上で家族みんなが文句を言わず食べられて私の腕でも作れる料理の中で、何が食べたい？」となります。よって、夫は、「何が食べたい？」と聞かれたら、そこに隠された妻の意図を読み取り、「夕食の献立を一緒に考えてくれない？」と受け取るべきであるということです。このように、

「行間を読み取る＝言葉の裏にある意図を読み取る」ということは、相手の欲することを読み取る行為であり、人間関係をスムーズにする上でとても重要なのです。

ここで、行間を読み取ることは、勉強においても重要です。なぜか？今回はそれについて見ていきましょう。

まず、行間という言葉について確認します。これは、一般に「文章の行と行の間」という意味ですが、今回は上の例のように、「言葉の間に省略された言葉」という意味で使うことにします。では、説明をする前に、簡単なクイズです。

Q. 「I like to play tennis.」を和訳しなさい」

という問題に対する答えとして、適切なのは①と②のどちらでしょう？

①「私はテニスが好きです。」 ②「私はテニスをするのが好きです。」

もちろん、正解は②です。そしてその理由は、行間です。

では、この問題の行間は何か？それは、「I like to play tennis.」を（あなたが不定詞という文法をきちんと理解していることが誰から見てもわかるように）和訳しなさい。」ということです。

詳しく説明します。「I like to play tennis.」という文の文法のポイントは、

“like to～”の部分を「～することが好き」と訳せるかどうかです。つまり、この文を①「私はテニスが好きです。」と訳したならば、その生徒は不定詞という文法を理解していないと判断されてしまうのです。もちろんテストでは減点です。もし、その生徒が“like to～”を「～することが好き」と本当は知っていたとしても、です。なぜなら、採点者が、生徒が理解しているかを判断する手がかりは、答案しかないからです。だから、②「私はテニスをするのが好きです。」と、誰が見ても正解とわかるように訳すことが大切なのです。採点者に「僕は文法がちゃんとわかってます！採点者の意図を読み取ってます！」とアピールする気持ちが、行間を読み取ることにつながり、最終的にはテストの点数につながるのです。

以上から、勉強においては「行間＝採点者の意図」、と言い換えられることがわかりますね。採点者の意図というのは、問題にはそのまま書いておらず、問題文から読み取らなければならないからです。そして、上の例で見た通り、採点者が生徒の解答を判断する基準は、生徒が書いた答案用紙のみです。だから、問題に答えるときは、「行間は何か、採点者はどのように答えてほしいと思っているか」をしっかりと考えましょう。【答案用紙は採点者へのラブレター】だと思って、心を込めて答案を作成してください。

さあ、いよいよ2学期がスタートします。「テストで良い点数を取って内申を上げたい！」「Wもぎの志望校判定で安全圏に入りたい！」このように普段から行間を意識し、採点者の意図をくみ取った勉強を行えば、テストで点を取りこぼすこともなくなります。勉強しているけれど点数が上がらないという人、もっと偏差値を上げたいと言う人は、是非お試しあれ。